

藍の花

10月10日 東山植物園

美しい青い色でおなじみの藍染に使う植物です。日本で使われているタデ科の蓼藍です。道端にはえているイヌタデにもちょっと似ていますが、こちらの方が丈が随分と大きいのです。



藍染には、葉が使われます。3月に種をまき、育ってきたら苗を間引きし、さらに育ってから移植します。夏に葉を収穫し、裁断し、干し、寝かし、発酵させます。寒くなる頃、染の染料、すくもが完成します。